

「愛知県がん対策推進計画（第2期）」の推進に関する平成26年度の主な取組

県民の死亡原因の第1位であるがんの死亡率を減少させるとともに、がんになっても安心して自分らしく暮らせる社会の実現を目指し、がんの予防、治療等に係る対策を総合的かつ計画的に推進する。

基本方針Ⅰ：年齢・性・就労状況等に配慮したがん患者やその家族の方々の視点 に立ったがん対策の推進

1 女性に特有のがん対策推進事業

「女性特有のがん対策専門会議（平成25年度開催）」による提言を踏まえ、対象者を絞った効果的な啓発のために、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体（PTA、大学）と連携した啓発活動や女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報等や提供の充実に努める。

- ・がん専門医による講演会の開催（3回、PTA等と共催による開催）
- ・PTA会員や女子学生への啓発資料の配布
- ・女性が受診する際に参考となる情報をホームページ等へ掲載（H25から継続）
- ・がん検診の意義や内容をまとめたリーフレットの作成、周知

2 小児がん患児復学支援検討事業

小児がん患者に対する復学支援のために小児がん拠点病院である名古屋大学医学部附属病院と共催で研修会を行う。

- ・対象者：教育関係者等
- ・内容：小児がんの専門医及びチャイルドライフスペシャリストにより復学支援の課題や取組方法についての講演

3 働く世代のがん検診受診促進事業

（1）がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議

民間企業における従事者のがん検診受診率向上やがんにも働けながら治療を続けられる環境の整備について情報交換・意見交換を行う。

- ・2回の会議を開催し、がん治療を受けながら働き続けることができる環境づくりに向けた会議としての提言をまとめる
- ・企業等の雇用者、がん医療機関や県民に対する情報発信・働きかけの案を具体的な啓発資料や媒体ベースで検討してまとめる

(2) 働く世代のがん対策シンポジウム

働く世代のがんの予防促進、がん検診受診率の向上及び企業等におけるがん患者の治療と就労の両立の環境整備を促進するため、企業の人事労務担当者等を対象に知識普及を図る。

- ・対象者：働く世代の一般県民、企業の福利厚生担当者及び労務担当者
- ・開催地区：尾張、三河地区の各1回

4 がん患者・家族に対する相談支援事業

がん患者の方々の悩みに対して、同じ目線で話を傾聴できるがん治療経験者等による相談支援を行う。

- ・がん治療関係者による相談支援をNPO法人に委託して実施
- ・尾張・三河地区で毎月1回（土日開催）

基本方針Ⅱ：県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられるがん対策の推進

1 がん診療連携拠点病院関係事務

地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図るため、がん診療連携拠点病院の候補病院を国へ推薦して指定を受ける。また、がん診療連携拠点病院に準じる病院として、県独自に、がん診療拠点病院を指定して、地域のがん医療体制の充実強化を図る。

《厚生労働大臣指定のがん診療連携拠点病院》

5大がんに関して手術、放射線、化学療法の集学的治療ができることに加え、がんに関する相談支援や地域の医療機関との連携等様々な要件を満たす病院として、県が推薦した病院を国が指定（15病院）。

《愛知県指定のがん診療拠点病院》

国指定の拠点病院は原則1医療圏1か所指定の方針のため、要件を満たしていても指定されない病院を本県独自に、「がん診療拠点病院」として指定（8病院）。

（厚生労働大臣指定、愛知県指定ともに、診療報酬の加算有り。）

2 がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金

がん診療連携拠点病院が、診療機能強化や医療連携機能強化拡充及び情報提供体制の強化拡充を図るために実施する事業に要する経費に対して補助を行う。

- ・補助対象病院数 厚生労働大臣指定病院のうち11病院
- ・補助単価等 6,490千円（国1/2、県1/2）

【がん診療連携拠点病院等指定状況】

医療圏	厚生労働大臣指定	愛知県指定
県全体	愛知県がんセンター中央病院	
名古屋	名古屋医療センター	名古屋掖済会病院
	名古屋大学医学部附属病院	名古屋記念病院
	中京病院	中部労災病院
	名古屋市立大学病院	
	名古屋第一赤十字病院	
	名古屋第二赤十字病院	
海部	厚生連海南病院	
尾張東部	公立陶生病院	愛知医科大学病院
	藤田保健衛生大学病院	
尾張西部	一宮市立市民病院	
尾張北部	小牧市民病院	春日井市民病院
知多半島		半田市立半田病院
西三河北部	厚生連豊田厚生病院	トヨタ記念病院
西三河南部西	厚生連安城更生病院	刈谷豊田総合病院
東三河南部	豊橋市民病病院	
計	15 病院(県1病院、地域 14 病院)	8病院

3 陽子線治療普及協力事業

陽子線治療の適応患者が円滑に陽子線治療が受けられるよう、診療所の医師を始めとした医療関係者、一般県民を対象に適応疾患等に関する知識普及を図る。

- ・陽子線治療に関する講演会の開催

基本方針Ⅲ：がんの正しい知識の普及啓発・教育を通じて、がんの予防・早期発見を進めるがん対策の推進

1 がん検診普及啓発事業

市町村、連携企業と協働する等して、がんの予防やがん検診の普及啓発を行う。

- ・受診啓発のポスター、リーフレットを市町村、連携企業に配布
- ・がん検診受診促進キャンペーン月間、乳がん月間（10月）を中心に街頭啓発等を実施

2 がん検診従事者講習会の開催

がん検診の精度向上のため、各種がん検診に従事する者の資質向上を図ることを目的とした講習会を外部委託により開催する。

- ・大腸がん検診、胃がん検診エックス線撮影、乳がん検診、細胞診に係る従事者講習会を開催（各1回）

3 がん対策部会がん検診精度管理委員会の開催

がん検診精度管理委員会を開催し、市町村が行う各がん検診の精度管理を行う。

- ・前年度の全市町村のがん検診実施結果を調査、集計して公表
- ・胃、子宮、乳、肺、大腸の5部位の委員会を開催し、精度管理上の問題点を分析して市町村へ改善通知

基本方針Ⅳ：がんの研究等を踏まえたがん対策の推進

愛知県悪性新生物患者登録事業（がん登録事業）

がんの診断治療に関する情報を医療機関から収集して、がんの罹患率や死亡率等を把握し、がん対策やがん研究の基礎資料とするとともに、結果を医療機関や県民に情報提供し、がん医療の向上やがんの予防啓発を図る。

【届出状況】

年次	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
届出件数	25,474	32,950	34,998	36,151	50,013	52,187	58,111

【罹患数及び届出精度】

医療機関から提出された届出票のデータに、死亡票のうち死因が悪性新生物のもので届出されていないものを加えて、その年の悪性新生物の罹患数を算出する。

《罹患数及び届出精度の状況》

年次	罹患数 A(B+C)	登録数 B	死亡票のみの数 C	DCN(%) C/A
21年	36,827	29,867	6,960	18.9

DCN…がん罹患数のうち、がん登録により把握されず、人口動態調査の死亡情報により把握されたものの割合

がん対策の計画的推進

がん対策部会の開催（年1回）

がんに関する各分野の専門家で構成する同部会を開催し、がん対策に関する取組の状況と目標の進捗状況を報告した上で、がん対策に関して望まれる方向性等について意見聴取する。